

くまの労基



ひと、くらし、みらいのために
熊野労働基準監督署

第 335 号 令和8年4月1日 発行

【1】令和8年度の熊野労働基準監督署の体制

令和8年4月1日付けの人事異動により、当署（管理職員）の体制は以下のとおりとなりました。

令和8年度も引き続きよろしく申し上げます。

署長	中島 亮	（留任）
監督・安衛課長	秋山 祥章	（転入）
労災課長	東 慶高	（転入）



【2】再度、職場の安全対策の確認、徹底を！

令和8年（2月末現在）の労働災害発生状況

死亡者数 0人（前年同期比増減なし）（令和7年0人 令和6年0人）

死傷者数 13人（前年同期比1人増加）（令和7年12人 令和6年6人）

熊野署管内における休業4日以上之死傷災害の発生は、前年と同様のペースで推移しています。

傾向としまして「転倒」、「無理な動作・動作の反動」等、行動災害が約31%を占めています。

転倒しにくい環境づくり（段差の解消・見える化、通路や作業場所の床の水等の拭き取り、整理整頓の徹底等のハード対策）のほか、個々の労働者の転倒や怪我のしやすさへの対応（転倒等リスクチェックの実施と結果を踏まえた運動プログラムの導入等のソフト対策）も検討をお願いします。

4 S 活動

K Y（危険予知）活動

危険の「見える化」



転倒等リスクチェック

運動プログラムの導入

等

事業者による対策を講ずべきリスクです。「労働者の不注意だから」では済まされません。

【3】令和8年労働災害発生状況について（令和8年2月末現在）

令和8年 熊野労働基準監督署管内 労働災害発生状況

令和8年2月末現在

業種	前年同期 (令和7年2月末)		令和8年2月末		増減				
	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡		死傷		
					数(人)	率(%)	数(人)	率(%)	
合計		12		13			+1人	+8.3%	
製造業	食料品								
	繊維工業・繊維製品								
	木材・木製品		1					-1人 -100.0%	
	家具・装備品								
	化学工業				1			+1人	
	窯業土石								
	鉄鋼業・非鉄金属								
	金属製品								
	一般機械器具								
	電気機械器具								
	造船業		1					-1人 -100.0%	
	輸送機械等								
	電気・ガス・水道業								
	自動車整備業・機械修理業								
上記以外の製造業									
小計		2		1			-1人 -50.0%		
鉱業	採石業		1					-1人 -100.0%	
	上記以外の鉱業								
	小計		1					-1人 -100.0%	
建設業	土木工事			1				+1人	
	木造家屋建築工事								
	上記以外の建築工事		1		1			±0人 ±0.0%	
	その他の建設業								
小計		1		2			+1人 +100.0%		
運貨物交通取扱業	道路貨物運送業				1			+1人	
	上記以外の運輸交通業								
	陸上貨物取扱業								
	港湾運送業								
小計				1			+1人		
第一次産業	農業・畜産業				1			+1人	
	林業		2		1			-1人 -50.0%	
	水産業				2			+2人	
	小計		2		4			+2人 +100.0%	
第三次産業	商業	小売業							
		新聞販売業							
		上記以外の商業							
	保健衛生業	通信業				1			+1人
		社会福祉施設		2					-2人 -100.0%
		その他の保健衛生業		2		2			±0人 ±0.0%
	接客娯楽業	旅館業		1					-1人 -100.0%
		ゴルフ場							
		上記以外接客娯楽業				1			+1人
	清掃業	ビルメンテナンス業							
		産業廃棄物処理業				1			+1人
		上記以外の清掃業							
警備業									
上記以外の事業		1						-1人 -100.0%	
小計		6		5			-1人 -16.7%		

※死亡災害報告、労働者死傷病報告による(前年同月速報値比較)。